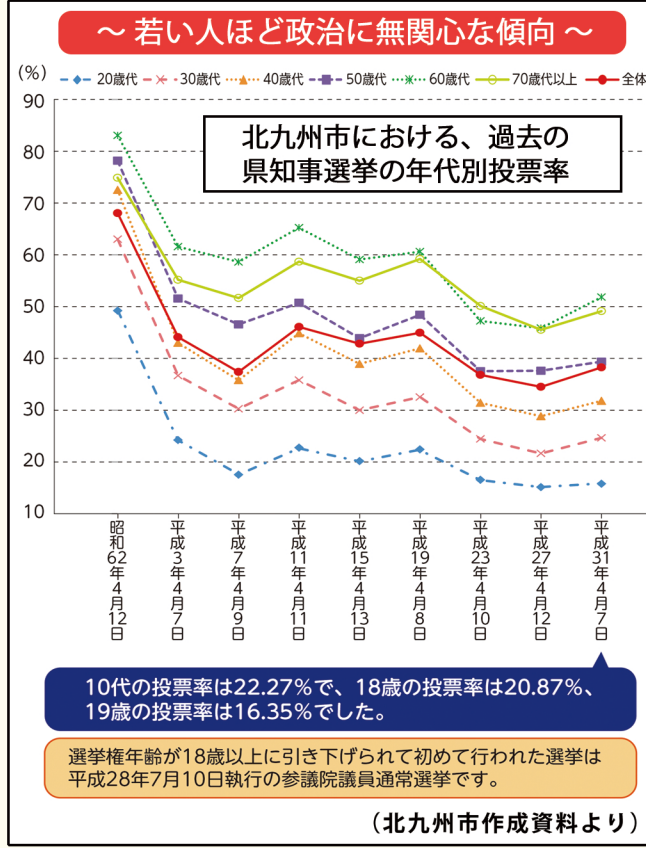


「もっと政治への関心を…」政治の現場に大学生

山本こういち事務所では2月から3月にかけてNPO法人「ドットジェイピー」から、2人の大学生インターン（研修生）を受け入れました。山本事務所によつてきたのは、国立香川大学の中嶋日菜子さん（写真左）、下関市立大学の深津康就さんで、県議会の傍聴や県庁職員との意見交換などを経験しました。ドットジェイピーは、登録した大学生を議員の事務所や大使館に送り出して政治活動を体験させることで、政治へ興味や関心を持ってもらい、若者の政治離れを防ぐことを目的に1998年にスタートした非営利団体です（法人化は2000年）。現在までにこの活動に参



加した学生は3万人を超えています。中嶋さんらは県議会2月定例会の本会議や予算特別委員会を傍聴したり、一般質問（4面参照）に向けて議員がどのように準備を進めていくかを間近に見学。他にも県庁職員と意見を交わしたり、山本が参加しているボランティア活動（下写真）を手伝ったりと、様々な現場で経験を積みました。若者の政治離れは非常に深刻で、年齢が低ければ低いほど選挙に足を運



高塔山のおじさいの根元に肥料をまくボランティアに参加したインターン生

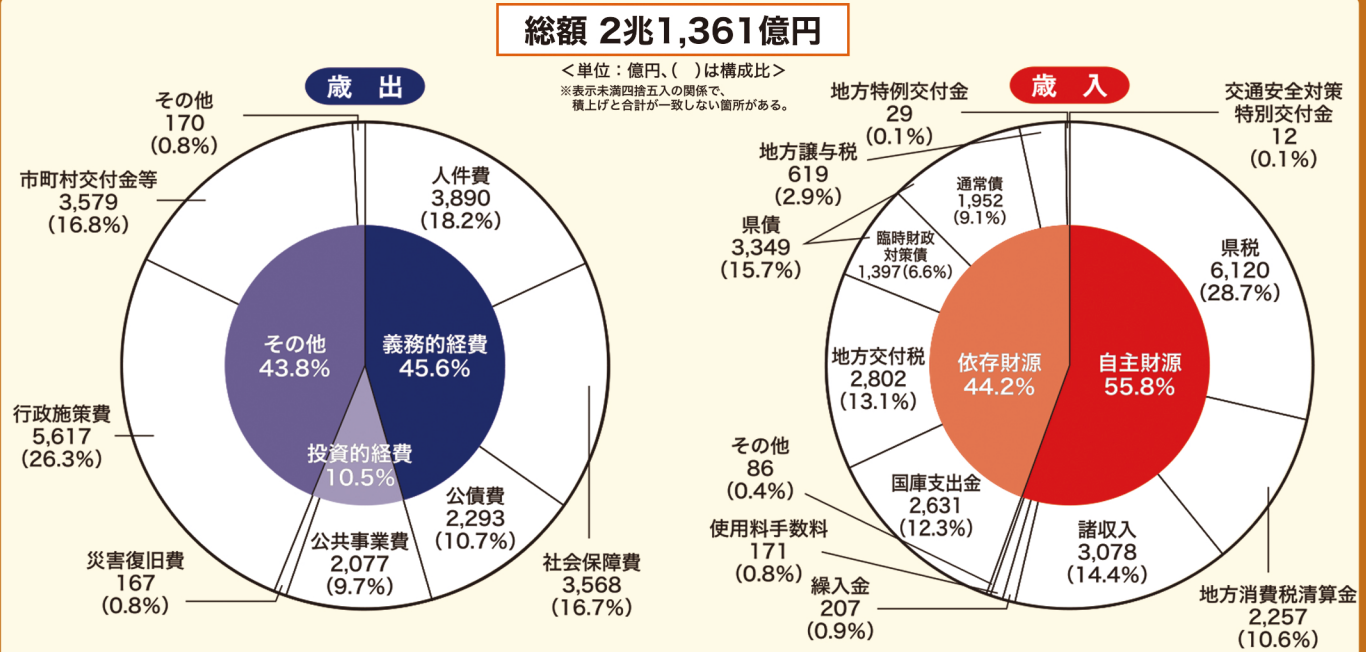
ばない傾向がハッキリしています（左表参照）。機会があれば今後も若者を山本事務所へ受け入れ、彼らが自治体行政や政治全般に関心を持つきっかけにしていきたいと思

2月議会 2021年度一般会計当初予算が成立 コロナ対策含め福岡県では初めて2兆円突破

福岡県議会2月定例会は2月22日に開会しました。初日に小川洋知事が病氣療養に専念するため辞意を表明。そのため本定例会は服部誠太郎副知事を知事職務代理者として行われました。開会日に上程された議案は、新年度予算議案20件、2020年度補正予算議案1件、新型コロナウイルス感染症対策基金条例などの条例議案13件、その他専決処分議案26議案などで、合計50の議案が上程されました。3月5日には2020年度補正予算議案10件、経費負担議案9件が追加で提案されました。開会日及び3月5日に新型コロナウイルス感染症関連の予算議案2件、条例議案1件が議決され、3月11日には2020年度補正予算議案等18件が議決されました。また3月12日から3月22日にかけては、予算特別委員会が開催され、新年度予算を重点的に審議しました。定例会最終日の3月24日には、更に本年度の補正予算議案1件が上程され、会期を通じて総計70の議案が提案されました。いずれの議案も会期を通じて可決されました。



2021年度 福岡県一般会計当初予算



若松区に関連する福岡県予算

- ◎ 河川改修費 → 1億7,800万円 ※江川ほか
- ◎ 砂防事業費 → 2,100万円 ※本村川(砂防)、高須西(急傾斜地崩壊対策)
- ◎ 県営住宅建設事業費 → 約5,700万円 ※高須団地、久岐の浜団地
- ◎ 福岡県リサイクル総合研究事業化センター 推進費 → 約2億円
- ↑ ひびきの学研都市の中にある機関。循環型社会の実現に向け、産学官民の研究推進や事業化支援を行っている。
- ◎ 放課後児童クラブ推進費 → 約7,400万円
- ◎ 若松高校大規模改築 → 4億2,800万円 …など



福岡県リサイクル総合研究事業化センター

約2か月間のインターンを通じて感じたこと

深津康就さん（下関市立大1年生・19歳）

この2か月間で、議会の傍聴や県庁の見学など、貴重な体験ができて良い経験になりました。特に議会の傍聴では、各議員が住民の声を取り入れ、政策を考えることで、この街をよりよくしていこうという姿勢や思いが伝わりました。今後は、ポストコロナにおいて政治家や行政がどのような政策を立てていくのか注目していきたいと思

中嶋日菜子さん（香川大2年生・21歳）

インターンを通じて、議員になるには色々な角度から物事を見ることが出来る力が必要だと感じました。県には様々な人が暮らしていて、様々な問題を抱えています。困っている市民の味方になり、代わりに議会で現状を訴えるのが議員の仕事の一つです。市民の目線に立ち、問題解決に勤（いそ）しむ、本当に大変で重要な仕事だと思